

動物による深刻な被害から農業を守りたい。 その思いが独創的な獣害防止柵を生みだす。



<http://www.cams.co.jp/>

株式会社キャムズ



キャムズのWMフェンス。施工しやすく強度と耐久性を誇る

コストや施工の労力を大幅減 傾斜地でも作業しやすい柵

地域の農業に深刻な影響を及ぼしている獣害。農村や山村の過疎化や耕作放棄地の増加によって、人と動物の活動範囲を分ける境界線が曖昧になったことが原因とされている。全国の自治体対策を迫られている中で、脚光を浴びているのが、施工しやすく、効果が高い獣害防止フェンスを製造・販売する株式会社キャムズだ。



CM放映中
 アミンチュてれびBBC(びわ湖放送)

現在、獣害防止柵として広く使われているのは、建設資材のフェンスを使う方式だ。十分な強度を得るには、先に多数の支柱を立てておき、ロール状のネットを大勢の力で引っ張りながら支柱へしつか

りと固定する必要がある。支柱にも相応の強度が必要のため、ブロック基礎の埋設や、控え柱で支柱の傾きを防ぐなど、施工にはかなりの人数と経験を要する。さらに、傾斜地での作業は平地以上に困難が伴う。地域住民だけでは施工できず、業者に頼るため高コストにもなりがちだ。キャムズが開発した「WMパネルシステム」は、こうした負担を軽減できないかとの切実な要望に応えたもので、強度や耐久性を誇るWM(ワイヤーメッシュ)パネルを使う点が特長だ。

ク基礎も控え柱も使わずに済むという。Y字型断面を持つオリジナル鋼支柱は扱いやすく、支柱を設ける作業が格段に楽になる。ネットを大勢で引っ張る労力も不要となり、高齢者が多くても住民だけの力でスムーズに施工できる。

獣害が深刻化し始めた7年前に 道路安全柵の業界から参入

設置作業が軽減できるうえ、パネル自体も比較的廉価であり、コストパフォーマンスに優れている。こんな「WMパネルシステム」が行政や農業従事者に注目され、滋賀県の大半の自治体はもろろん、周囲の府県でも採用が広がっている。この画期的な獣害防止柵を生み出したキャムズは、意外にも元来は建設業の会社だった。太田社長は学校や公園、道路の安全柵の組み立て・設置業務に30年以上従事。7年ほど前、路上でフェンスを



「河川用簡易防護柵」は増水時にはネットが自力でほどけてのれん状になる

内の複数自治体での採用につながった。市販の金網フェンスは2m幅が標準だが、特別に2.7m幅のフェンスを発売した。剛性を高めるために、ガードレールの構造を流用して上下に山折り加工を施し、接合部分を10cmずつ重ねた。こうして2.5mの支柱幅が実現でき、支柱の数を減らせるようになった。このような細やかな工夫を重ねたことも、施工を含む大幅なコスト削減につながった。

また、野生動物の水路からの侵入を防ぐ「河川用簡易防護柵」は、人が川に転落した場合にはセーフティーネットになるほか、大雨で川が氾濫しそうな際はネットが流水の圧力により自力でほどけて堆積物を流すなど、いずれも現場施工に精通した発想を生かし、生命や河川環境に配慮を凝らすキャムズの姿勢が伝わる製品だ。

熊がよじ登れない専用柵など 多様な要望への対応を進める

未経験の獣害防止市場へ乗り込み、7年ほどで独自のポジションを築いたキャムズ。「それ以前」に比べて売り上げは10倍以上に伸びた。いま、国の補助金を基準にみた市場規模は約100億円だが、そのうちの5%をすでに獲得。太田社長は「全国に特約店網をつくる手法でシェア拡大を目指したい」と意気込む。「評判が広がっているおかげか、各地か

ら「こんな柵はできないか」とのご相談を多くいただく。現在は、熊がよじ登ったり、掘り返したりできない専用防止柵を開発中だ。熊の侵入防止だけでなく捕獲にも役立つ「檻」に取り組んでいる。獣害防止は農業の衰退を防ぎ、地域に希望を取り戻すための重要な課題だ。また、動物の命を守ることもつながる。昨年10月には環境事業部を立ち上げ、新しいマーケットの開拓にチャレンジしている。今後も地域にできる限りのお手伝いをしたい」



山折り加工と後メッキ処理を施したフェンス

「抜けないアンカー」なども考案
施工の現場に精通し環境に配慮
 製品の開発にはあらゆる地形・土質の現場で柵を設置してきた経験が役立った。フェンス自体の設計も得意だ。しかし、部材調達コストをどう抑えるかが難関ですぐには解決できなかった。太田社長は中国への製造委託で活路を見いだそうと考え、未経験の海外取引を敢行。「少なくとも失敗を重ねながら、WMパネル製造や後メッキ処理のコストを格段に低減することに成功。これが滋賀県

さらに太田社長は地域住民、行政からの幅広いニーズに添えようと、難条件の土質でも固定でき、金網のめくれあがりや防ぐアンカー類や、豪雪などの気候条件に対応した「WMパネル」の応用製品ともいえる獣害防止用品を次々に開発。例えば、「スタックスパイラルアンカー」はらせん状の先端部を途中から逆回転させて抜けにくくし、「ランドステッチアンカー」は土中に打ち込むとアンカー自体が90度回転して固定できる。

Profile

株式会社キャムズ

- 本社/栗東市六地藏709-3
- 本店/滋賀県湖南市夏見1234
- 湖南支店/滋賀県湖南市柑子袋620
- 設立/2003年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/20名
- 事業内容/獣害対策製品の技術・研究開発・販売・施工、道路交通安全施設・落石防止柵の設計・施工、環境関連事業 その他



代表取締役社長
 太田 雅章氏

Voice

「地域に役立つ獣害防止用品」の開発製造に注力しています。人と動物の生息域の境界を明確にできれば、両者が共生できる環境も復元できると信じているからです。今後もこの道に励んでいきます。